
ARACHNID THE Battle of Hate Figures

真島梅軒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ARCHNID THE Battle of Hate Figures

【Nコード】

N9761V

【作者名】

真島梅軒

【あらすじ】

少女達はただ普通に暮らしたいだけ……それを邪魔するものは、誰であろうと……殺す。蜘蛛は牙を剥く、己とそして、愛と絆を守るために……

P r o l o g u e (前書き)

蟲はただ、暗躍する

Prologue

薄暗い部屋

そこに二人の男がいた。

「次の標的は『藤井義雄』、街金から三百万ほどつまんでる破落戸だ」

「直接的な関係のある親族は姪が一人だけ、二人とも始末しろ」

「後始末はどうする」

片方の男は拳の中で、胡桃をカリッ、カリッと擦り合わせながら答えた。

「そいつは『屍出蟲』の仕事だ、お前は殺しに集中すればいい、得意だろ？ 『蜘蛛』」

「ああ、『集中』は得意だ」

少女は知らなかった。

己の才能を…

殺しの才を…

この物語は、一人の少女が『蜘蛛』になる物語。

しかし……蜘蛛は本来、害虫ではない。

ただ、襲われれば牙を剥くだけ。

少女は牙を剥く、仲間と共に

己の大切なものを傷付ける者を……

『ARACHNID THE Battle of Hate Figures』

立ち向かえ、絆を信じて

駆け抜ける、愛の為に

絡め取れ、お前の幸せを

Prologue (後書き)

感想、お待ちしております。

『ARACHNID THE Battle of Hate F
igures』

第1話 / 出会い

第1話 / 出会い（前書き）

蜘蛛は出会う、己自身に...

第1話 / 出会い

ある高校の女子トイレ

「ねー、ねー、アイツどう思う？ アリス」

「あー…フジイ：アリス藤井有栖？」

三人の女子生徒だった。

黒髪のロング、オールバックのようにしてデコを出している女子は鏡を見て、薄い口紅をしている、そしてその女子の両側にそれぞれ、金髪と赤毛の女子がいた。

8

「また休みだよね」

「もしかしてウチらのせい？」

「いじめすぎた？」

「自業自得っしょ、アイツ気持ち悪いーもん」

「アタシこの間、シカトされちゃってさア、『本に夢中で気付かなかった』とか言い訳してたけど、その本つてのがさアー…」

「何々？」

「国語辞典なんだよね」

「ゲエー何ソレ」

「キモッ」

「つか、ありえなくね？」

とある古いアパート

そのアパートのある一室に、一人の少女がいた。

濃い茶色、または赤茶色の髪を肩に掛かるか、掛からないか位の長さで切った少女が本を読んでいた。

服装は学校の制服。

読んでいるのは、

『国語辞典』

かなり『集中』しているようで、一心不乱に『国語辞典』を読んでいた。

そこへ……

「アリス！」

低い男の怒鳴り声が響いた。
しかし、少女は聞こえていないのか、返事をしない。

「アリス！」

男の怒鳴り声は、ドタドタと大きな足音を立てて、少女の部屋に近付いてくる。

バン！！

大きな音を立てて、少女の部屋のドアが開かれた。

「オイ！ 聞こえねえのか！！ アリス！！」

はっ、とした様子でアリスはやっと、男が自分を読んでいたことに気付く。

「あ…お、叔父さん……」

アリスは申し訳なさそうに叔父に目を向ける、

とたんに、

「何度言わせりゃ気が済むんだよ！！」

叔父がそう怒鳴ると、アリスはビクッ、と体を震わせた。

「てめえが真面目に登校しねえと、市の養育補助金が支給されねえんだよ！ 俺を飢え死にさせる気か！？ ああ！？」
あまりにも身勝手な理由だった。

「ご、ごめんなさい、叔父さん……私、いつも何かし出すと止まら

なくなっちゃって……」

しかし、アリスは正直に謝った。
しかし

バン！！

叔父はアリスがすがっていた本棚を思いっきり殴った

しかも、その腕はアリスの顔のすぐ横を通り過ぎていたので、さらに彼女の恐怖心を強くした

「またそれか！？ もっとマシな言い訳を考えろ！！」

そして叔父は視線を彼女に合わせるように跪き、彼女を睨み付けながら言った

「娘がそんな調子だから…母親も心労でくたばっちゃったんじゃないかねのか？ ああ？」

「……………」

去年の暮れ、アリスの母は鬱病の悪化が原因で自殺した

元から父親が居らず、一人になったアリスは、ほぼ唯一の親類である叔父を頼り……このアパートで一緒に暮らすことになった

アリスは叔父があまり好きではない、何かにつけて母や自分を悪く言い、気に入らないことがあるとすぐに怒鳴ったり暴力を振るうからである

こんな家にいたくないが、追い出されたら、行くところがなくなる

今は、耐えることしかできない

「いい機会だ」

叔父が先ほどとは違う、どこか落ち着いたような口調でアリスの両肩に手を置いて話す

「姉貴がお前を甘やかし過ぎた分、俺が厳しく躰けてやる、お前もそろそろ大人の女になる頃だしな……」

叔父の目が、アリスの肉体カラダを見て、下品に笑う

「え……」

戸惑うアリス、しかし、叔父は行動に移した

グイッ

突然、アリスの身体は前に引っ張られ、そして…

チュブ

無垢な少女の汚れを知らぬ唇は、愛してもいない男の唇によって塞がれた

「んぶ!? ん…んーな!! ウウーッ!!」

それは屈辱以外のなんでもなかった

叔父は高校生女子としては平均的な身長のアリスを抱き上げるようにして、その唇に強引に口づけを続けた

「ぶはっ」

どうにか叔父の口づけを逃れたアリス、その瞳には涙が浮かんでいた

「い、いきなり何を…」

しかし、アリスが言い終わる前に

ガ

ドッ

「あッ」

叔父はアリスをまるで床に叩き付けるかの如く、押し倒し、彼女の
上に覆い被さるようにした

「や、やめ……」

アリスが許しを乞おうとした時

バシ

彼女の口は、叔父の大きな手で閉ざされた

「騒ぐな

殺すぞ」

叔父をアリスを見下ろして言う

「……………」

アリスは覚悟を決めるかのように目を閉じた

「そつだ、おとなしくしてろ…」

叔父の唇が再びアリスを襲おうとした時

キンコーン

キンコーン

玄関のチャイムが鳴った

キンコーン

「クソ」

キンコーン

叔父が鬱陶しげに視線を玄関の方に向ける

「うるせえな…誰だ？」

立ち上がった叔父は玄関の方に行くところだが…

「逃げるなよ、まあ、どうせ……ここ以外にお前に行く場所なんかないがな……」

そう言って、叔父はニヤリと笑いながら、部屋を出て行った

カチカチカチツ……

部屋に奇妙な音が響いた

アリスの身体が、恐怖で震えて、歯が鳴ったのである、足もガクガクと震えていた

(に、逃げなきゃ……)

アリスは部屋の窓を開け、下を覗いた、しかし、部屋は2階にあるため、下までにはかなりの高さがあった

(駄目だ、となると……)

アリスは先ほど叔父が出て行った部屋のドアに向かい

(玄関から強行突破するしか…)

覚悟を決めて、部屋をのドアを開けたアリスの目に飛び込んで来たものは

玄関の前で首を吊られて死んでいる叔父の姿だった

先ほどまで自分を襲っていた男の死に啞然とするアリスだった

叔父の死体の後ろの方に、一人の男がいた、眼鏡にソフト帽を被り、コートを羽織った男

「……………姪か、今頃は学校にいたかと思っていたが、手間が省けた」

(……………何？ 何コレ？)

そしてアリスは………… 『集中する』

(あの人がやった？ 誰？ あれ何 刃物？ 痛そう 次は 私？ 次？)

男がゆっくりと手にしたナイフのようなものをアリスに向ける、男とアリスの間には、約2mほどの距離がある

(次は私 次は私 次は私がああなる 逃げなきゃ 逃げられない
どっしする どっしする?)

ドクン

聞こえるのは己の心臓の鼓動

ドクン

男の手に持つナイフのようなものの刃が飛んだ

ドクン

(殺される)

ドクン

(どっしすれば助かる? どっしすれば)

ドクン

(ギョ...)

ドクン

ドクン

(すねば...)

ドクン

ドクン

ドシユ

肉を貫く鈍い音が部屋に響いた…

第1話 / 出会い（後書き）

感想、お待ちしております。

次回

『ARACHNID THE Battle of Hate F
igures』

第2話 / 反撃

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9761v/>

ARACHNID THE Battle of Hate Figures

2011年10月7日20時48分発行